

各位

2021年4月6日

読賣テレビ放送株式会社

新型コロナウイルス感染について

当社の報道局の社員で大阪府警記者クラブに所属する記者が、新型コロナウイルスの検査で「陽性」であることが本日確認されました。当該記者は、4月5日朝、自宅で37.3度の発熱症状があり、同日PCR検査を受診していました。

濃厚接触者の特定については、保健所の判断を待っているところです。

当該記者は4月3日と4日は休みで出勤しておりませんでした。発症日の3日前の2日には出勤し、大阪府警や府内の警察署などで取材にあたっており、本人の行動履歴とともに、接触した可能性のある関係者への対応を適切に行ってています。また、大阪府警記者クラブなど関係個所の消毒作業も進めています。

またこれとは別に、当社のコンプライアンス推進室の社員2人が、新型コロナウイルスの検査で「陽性」であることが、本日までに確認されました。

本社内で勤務する当該社員のうち1人は、3月26日に37.2度の発熱と味覚障害があり、3月31日にPCR検査を受診、同日「陽性」が確認されました。3月26日からは出社しておりません。

この社員の「陽性」確認をうけて、保健所が濃厚接触者と特定した2人を含む社内で接触の機会の多い社員7人（いずれも社員で、発熱等の症状は無し）がPCR検査を受診したところ、本日までに1人の「陽性」が確認されました。すでに勤務エリアなど関係個所について消毒をすませています。

今後も保健所と連絡を取りながら、社内及び社外への感染拡大防止と、業務にあたる社員・スタッフの安全確保を最優先に取り組んでまいります。